

## 特別活動における研究

### 特別活動の研究テーマ

関係形成の育成を目指す学級活動の展開  
～学級の成長を目指す話し合い活動を通して～

指導主事 松田 真也

研究協力員 天草市立本渡中学校 教諭 伊形 英朗

#### 1 研究テーマについて

##### (1) 関係形成について

第2期教育基本振興計画で示されたように、我が国は少子高齢化や絶え間ない技術革新、グローバル化の進展等、様々な課題に迫られている。このような課題に対処すべく、「これからの時代を生き抜いていくために必要となる資質・能力」、つまり、「21世紀型能力」の育成が求められている。その中でも、本センターは未来を創る「実践力」において研究を深めている。

特別活動においては、学習指導要領の目標に「…よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる…」とあり、さらに、特別活動における全ての活動の目標に「…望ましい人間関係を形成し…」と示されている。このことから、「実践力」の中でも特に「関係形成」に着目し、その育成を目指す学級活動の展開について研究を進めた。

##### (2) サブテーマについて

小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会でも、特別活動の課題として「よりよい生活と人間関係を築くための諸活動の充実」が挙げられ、特

に「集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動」が示された。また、学級活動の成果と課題では、話し合い活動と自己決定、集団決定の相関関係も示され、言語活動の充実に向けて話し合い活動の充実は欠かせないと語られた。さらに、学級が全ての学校教育活動の基盤であり、担任である研究協力員と共に研究を進めることから、【図1】のように、年間を通して「学級の成長」という目標を生徒とも共有し、モチベーション管理しながら、学級活動における「話し合い活動」による関係形成の育成を目指した実践を研究の中心にした。

#### 2 研究の視点

##### (1) 視点1（学びを引き出す「豊かなかかわり合いのある言語活動」）について

特別活動における言語活動として、学習指導要領では、「よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめる話し合い活動」の充実が求められている。児童生徒が自主的、自発的に進める言語活動で、集団決定や合意形成など特別活動だけが取り扱う話し

合い活動であることを理解し、指導の充実を図る必要がある。また、『中学生熟議』の考え方では、子どもたちが集団生活や社会生活の中で直面する身近な問題について熟考しながら、話し合いを重ね、よりよい生活づくりを目指した実践を通して、社会に参画する態度や自治的な能力の育成を目指している。この『中学生熟議』では、他者と協同して「熟考」→「話し合い」→「考えの発展・統合、合意形成」といった過程を経る言語活動を含むことから、子どもたちの思考力・判断力・表現力等の



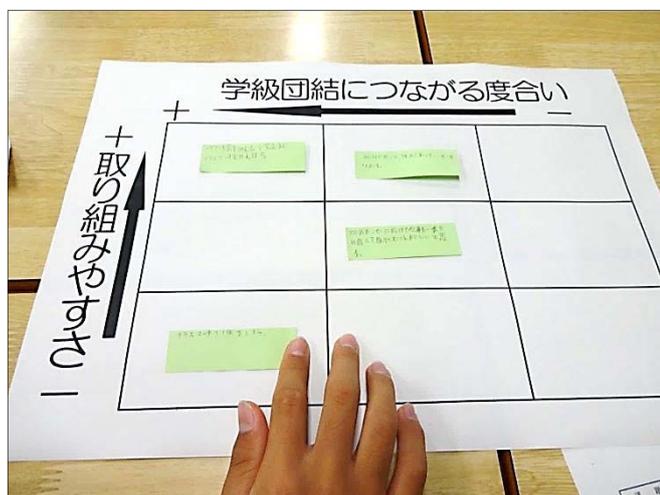
【図1】学級の成長イメージ

育成に資することが期待されている。

本研究では、これまでに培った話し合いの進め方や合意形成のための手立て等を活用し、経験や体験と関連付けながら自分の考えや意見を持ち、それを根拠をもとに班で出し合い、一つの意見に絞り込み、さらに、学級全体でも同様に各班から出た意見を一つに絞り込んでいく。その際、司会者の進行マニュアルに従って、友達の考えと自分の考えを比べ、自分の意見や考えを分かりやすく伝えるなど、豊かに関わり合う言語活動を通して、思考力・判断力・表現力等を高めていく。

### (2) 視点2 (学びを振り返る「思考過程の可視化と学びの振り返り」) について

本研究では、意見の絞り込み・合意形成に向けてマトリクス表【図2】を使い意見の根拠となる思考の度合いを可視化しながら話し合う授業を目指した。また、事前に自分の意見を記入したり、本時の話し合い活動の流れを確認したり、本時の振り返りや実践に向けての思いを記入したりできる学級会シートを作成し、記入した意見や考え、話し合いの際の発言や実践の際の生徒の工夫点や努力等を評価し、指導の改善につなげる。



【図2】話し合いに活用したマトリクス表

### (3) 視点3 (学びを支える「学びのUD化と効果的なICTの活用」) について

この学級の学級会では、議題、提案理由、話し合いの柱やめあてを事前に示し、毎回同じ流れで話し合いを進める。また、それらを示した学級会シートにより、流れをつかみ、自分の考えとその根拠を持って全員が話し合いに参加できるようにする。さらに、黒板も同様に、話し合いの流れや合意形成の様子が分か

るようにしていく。導入部分の課題の意識化のところで、過去の実践を振り返るために効果的にビデオを見せるなどのICTの活用も取り入れる。

## 3 研究の実際

検証 中学校第1学年

議題名 「1年7組のこれまでの振り返り、これからさらに成長するためにめざす姿を明らかにしよう」

### (1) 本議題の授業設計

#### ① 議題設定のねらいについて

本議題は、学習指導要領の「学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。」及び活動内容(1)-アを受けて設定した。

本学級では「全力投球」を学級目標として、学校行事の前後の話し合い活動を大切にしながら、よりよい人間関係づくりを中心に学級目標の達成に向けて取り組んできた。そして、学校行事後や学期末に、その振り返りを行ってきた。その結果、4月当初は、希薄だった人間関係も徐々に深まりを見せ、互に関わり合いが増えてきた。合唱コンクールという学級の成長にとって大きな行事があった2学期を振り返り、これからの取組について考えさせたい。事前に実施した「学級目標が達成できていると思うか。」というアンケートでは、達成度の平均は「50.1%」であった。生徒たちは、2学期の取組は、学級目標どおり「全力投球」できたという満足感と、まだまだ足りないという反省の両方を持っているようである。生徒会選挙も近づき、学校全体へも目を向け、2年生への準備をしなければならない時期である。この時期に、これまでの学級の取組を振り返り、学級と自分がさらに成長していくために、今後自分たちはどう過ごしていくべきかを考えることは、日々の生活を充実させていく上でも意義深いことであると考え、この議題を設定した。

② 本時の目標

学級目標と自分たちの取組を照らし合わせながら振り返ることを通して、自分たちの姿をさらに高めたいという仲間の思いに気づき、これからどのようなことに取り組むかを話し合い、実践に向けての意欲を持つことができる。

③ 本時の展開

授業の様子	視点について
<p><b>議題</b>「これまでの1年7組の歩みや一人一人の成長を振り返り、3学期に向けてさらに成長するためにめざす姿を明らかにしよう」</p> <p><b>話し合いのめあて</b></p> <p>①自分の意見は、その根拠（理由）もはっきりと伝える。</p> <p>②みんなが学級目標を意識して話し合いに全力投球し、学級の成長につながる取組をじっくりと考えて1つ決める。</p>	<p>・事前に議題についての話があり、学級会シートに予め意見を記入し、全員が意見を持って参加した。←<b>視点2・視点3</b></p> <p>・事前にシートに目を通し、自信を持って発言できるよう励ましが記入されていた。←<b>視点3</b></p>
<p>1 提案理由の発表</p> <p>アンケートによる学級目標達成度「50.1%」という結果をどう受け止めるべきか。2学期の終わりに、1年7組の成長の歩みを全員で振り返り、学級がさらに成長し「学級目標 100%達成」に向けて、学級のめざす姿を考えて実行したいという提案理由が発表された。</p> <p>2 柱1について</p> <p>「これまでの歩みを振り返り、思いを交流しよう。」</p> <p>司会者：始めに合唱コンクールのビデオを見て、取組の様子を思い出してください。そして、自分たちのこれまでを振り返って、今の思いを班の中で出し合って交流してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校版「班活動の手引き」に合わせ、班長の進行で全員が発言。</li> <li>・司会者の指名で4名が全体へ発表。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="132 1182 422 1285" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>①いじめもなく、みんな仲良くなってきたけど、授業中の態度を注意されることがありました。</p> </div> <div data-bbox="485 1182 711 1285" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>②合唱コンクール前より協力して一生懸命取り組むようになった。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="405 1335 632 1532" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>③合唱コンクールの練習が上手いかわなくて、自分たちの気持ちを言い合い話し合って、それから練習もよくなり本番はいい合唱ができました。</p> </div> <div data-bbox="703 1397 930 1532" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 20%;"> <p>④この頃は、発表も多く、授業中の態度が少しずつ良くなってきたと言われます。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>3 柱2について</p> <p>司会者：柱2に入ります。「学級目標100%達成」に向け、これからどのようなことをすればいいか話し合います。</p> <p>その前に、次のことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標は「心をついに何事にも一生懸命に、最後まであきらめずに精一杯取り組む」です。</li> <li>・決めるのは、学級全体で取り組めること。</li> <li>・12月から3月の間でできること。</li> </ul> <p>また、絞り込むための視点は、</p> <p>①学級の団結につながる度合いと②取り組みやすさです。</p> <p>司会者：班では付箋をマトリクス表に貼りながら意見を出し合い、二つの視点をもとに意見の一つにまとめてください。決まったら意見を短冊に書き、黒板のマトリクス表に貼ってください。</p>	<p>※学級委員（副司会者）から提案理由が発表された。</p> <p>・学級活動は議題の意識化が重要であるが、生徒はよく意識して意欲的に話し合いに臨んでいた。提案者</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  <p>提案者</p> </div> <p>・これまでの学級の振り返りとして大型テレビで合唱コンクールの様子を見せた。話し合いの意欲付けともなった。←<b>視点3</b></p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>・事前の計画委員会で確認し決めておいた4名に発表させ、マイナス面だけでなく、プラス思考の発言も引き出せた。←<b>視点1</b></p> <p>・「話し合いのめあて」として「根拠や理由を必ずつけること」を確認したことで、根拠や理由をしっかりとつけた発言が多く見られた。理由や根拠をつけることは自分の意見について深く考え、お互いの意見について理解を深めることにつながった。←<b>視点2</b></p> <p>・司会進行マニュアルに沿って、話し合いがスムーズに進むように、決めることと絞り込みの視点を確認した。←<b>視点1</b></p> <p>・班での話し合いは、日頃授業でも使っている学校版「班活動の手引き」や「話し合いの進め方」を活用させ、他者を思いやりクラスのことを考えた発言となるように表現させた。←<b>視点1</b></p>



※マトリクス表を使い、二つの視点で班の意見を絞り込む。

・班と全体での話し合いでは、マトリクス表を活用し、二つの視点（団結と取り組みやすさ）を基に、スムーズに一つの意見に絞り込むことができた。←**視点1・2**

・各班の意見の発表。そして、黒板のマトリクス表に短冊を貼る。



①以前7組はあいさつがいいとほめられていたのにあいさつが悪くなっているの、まずは立ち止まってきちんとしたあいさつをし、学校一のクラスになる。

②意識を高めるため週に一回、学級目標を達成できなかったか振り返り確認する。

③あまり話さない人とも積極的に話し、もっと仲良くなる。

④授業中、注意し合い、積極的に発表して、楽しい授業にする。

⑤悪いところを出し合い、一つずつ直していく。

司会者：各班の意見をまとめると5つになります。学級目標達成に向けて1つに絞りたいと思います。絞り込むために何か意見のある人はいませんか。（何も意見が出なかったの）班で5つの意見の内、どれが良いか話し合ってください。

・事前の計画委員会で、司会者には「話し合いの進め方」をもとに、意見の出方によっていくつかのパターンを想定させておいたので、スムーズな話し合いで合意形成を図ることができた。←**視点1**

・この後、各班から1つに絞り込む意見と理由が述べられた。



授業の始まりのあいさつが大きい声できると授業も締まってくるし、声を揃えようとみんなの気持ちも揃い団結力も強まると思うのであいさつがいいと思います。

何と言っても取り組みやすいという理由から、あいさつがいいという意見になりました。

気合いも入るし、先生方への感謝の気持ちも示せるので、あいさつがいいです。

みんなであいさつし合うことで学級の仲も深まるし、気持ちよく過ごせるからです。

私たちの班もあいさつです。学級目標の項目の一つにもなっているからです。

司会者：ほとんどがあいさつという意見だったので、授業の始めのあいさつや日頃のあいさつを大きい声ですということでもいいですか。  
(最終決定)



司会者

・マトリクスの2つの視点に沿ってあいさつが良いという意見が出されたが、取組についての具体的な意見や、他の取組と比較した意見がなく、深まりが足りなかったのが残念である。

#### 4 まとめ（振り返りと教師の話）について

- ・学級会シートに、本時の振り返りや実践に向けての思いを記入。
- ・書記による話し合い活動に対する振り返り

・学級会シートには、自己評価で今日の話し合いの反省と決意事項をもとに、自分が頑張りたいことを記入させた。話し合いの反省では、「ほとんどの生徒が提案理由に沿って考えられた」「自分の意見を発言できた」「他の人の意見を聞いて生かされた」「活動意欲が高まった」等について4段階のAをつけていた。←**視点2**

・書記による振り返りでは、生徒自身が感じた率直な言葉で、話し合いの評価を述べさせた。この生徒は、責任を果たせた自分の評価も75点と評価した。←**視点2**



みんなこれまでの学級を振り返って、もっと1年7組をよくするために、いつも以上によく話し合っていました。特に田中君の班は、全員が活発に意見を出して充実した話し合いになっていたと思います。僕も司会者と協力して、書記の記録を頑張りました。これから、みんなで決めたあいさつをしっかりやっていきましょう。

・GT（校長先生）の話（講評）

班長を中心に、よく意見を出し合い話合いができていました。司会者もよく時間内に一つの意見にまとめることができました。あいさつは簡単なようで難しいものです。学級目標達成のために、いつ、どのようなあいさつをするのか、もう少し具体的に決めて、実行しましょう。期待します。



・GT（校長）の講評は、生徒により緊張感と実践への励みとなった。←視点2

・担任の話



今日は、話合いのめあてを意識して、理由や根拠を持って、班の中で、あるいは班の代表として全体にしっかりと発表ができていました。司会団の3人も計画委員会から準備を進め、よく進行してくれました。全員に拍手です。自分の思いをはっきり伝え合うことで、合唱コンクール前のように、分かり合えて学級が一つになれるのです。次は、実践です。後ろに貼ってある学級目標と、学級の成長イメージのように、3学期に向けて取り組みましょう。まずは、あいさつからですね。もう少し具体的に決めて皆さんに提案します。

・これからの話合い活動と実践への意欲付けたとなった。話合いの充実が、学級の成長、団結につながり、個人個人の成長につながることを意識させることができた。←視点2

## (2) 検証結果と考察

### ① 議題設定のねらいについて

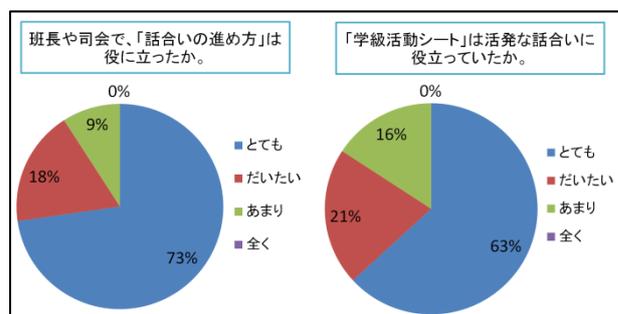
学級活動のねらいである「学級や学校の生活の充実と向上」を目指し、生徒に示した「学級の成長イメージ」のように、学校行事や学期毎に話合い活動をとおしてよりよい人間関係づくりに取り組んできた。検証授業の生徒の話合いの様子を見ると、これまでの学級を振り返り、学級目標の達成や学級の団結につながる取組について意欲的に話し合っていた。議題設定のねらいは、十分に達成できたのではないかと考えられる。それは、生徒の自己評価や生徒の振り返り、GT（校長）の講評、担任の話からもうかがえる。また、話合いのねらいを意識して「理由や根拠」を基にした発言が班でも全体でも多く見られた。しかし、あいさつを頑張るといった抽象的な決定事項となり、具体的な実効策まで行かなかったことには課題が残る。ただ、決めたことを実践することだけでなく、自分の思いをしっかりと伝え合う話合いそのものが、学級の成長とそれぞれの成長につながることを意識してきたようである。

### ② 研究の視点について

#### ア 視点1について

話合いの進め方、学級活動シート、話合いの手引き、マトリクス法等を活用させながら話合いに臨ませたことによって、自信を持って発言したり、理由や根拠を示して発言したりする姿や、班や全体でも

スムーズに絞り込んで決めていく様子が見られた。授業後の質問紙調査【表1】では、約9割の生徒が「話合いの進め方や学級活動シートは役に立った」と答えている。



【表1】質問紙調査の結果

担任からも、いつも以上に、意欲的に発言し、また、友達意見を真剣に聞く・受け止める姿、さらに、学級全体で取り組もうとする姿が見られたという感想を得た。話合いの進め方やシートによって班での話合いや全体での話合いはスムーズにできるようになってきたので、今後はさらに自分の意見へのこだわりを持った上での合意形成を目指す話合いにしていきたい。そのことが、話合い活動において、生徒自身が更なる充実感を感じることに繋がると考える。

#### イ 視点2について

板書や学級会シートの工夫によって話合いの流れを分かりやすくつかませ、また、マトリクス表によって指標に照らして意見の絞り込みをスムーズに行

うことができた。さらに、書記やGT（校長先生）の振り返りで、決めたことへの実践意欲と、次の話し合いへの意欲が高まった。今後は、学びの振り返りを全体で共有する場面の工夫に取り組みたい。また、マトリクス表以外の意見の折り合いをつける合意形成の工夫をさらに考えていきたい。

### ウ 視点3について

学級会シートに事前に意見を記入させ、またそれを担任が確認し励ましの記入をしたことは、生徒の発表への自信と意欲につながった。また、「学級の成長イメージ」の掲示は、折にふれて学級を振り返り、常に学級の成長を意識させたり、話し合いを活性化させたりすることにつながった。さらに、柱1での映像も柱2に向けての意識化に有効であった。これらのことから、さらに、学びや話し合いを支えるものとして、全員が楽しみながら、意欲的に話し合いに参加できるような手立てやICT活用の充実に努めていきたい。

## 3 研究のまとめ

研究テーマに掲げた「関係形成の育成」は、学級活動だけ、ましてや話し合い活動の時間だけでできるものではない。基盤となる学級経営、そして学校教育活動全体で、また日常の様々な集団の中における生活経験の中で、育まれるものであると考える。生徒へのアンケートによると、「話し合い活動で学級は成長すると思いますか」という問いに対し、「そう思う」「少しそう思う」という回答は、55%から86%へ増えた。学級独自の時間がなかなか取れない中学校では、学校行事は貴重な体験活動実践の場であり、各行事の前に目標や取組について話し合い、行事の後に振り返りをしながら学級の成長と関係形成を目指してきた。そして、少しでも話し合うことの難しさや抵抗をなくすために、パターンを決め繰り返し同じ形で話し合い活動を行ってきた成果が現れているとも言える。

ただ、今回の研究で1つの学級に関わり、生徒たちの数ヶ月に渡る変容を見てくる中で感じたことは、「関係形成」は生徒同士の関わりの量・深さ・質が大きく関係するということである。生徒へのアンケートで、「学級の団結が高まったと思ったのはいつですか」という問いに対して、一番多かったのは「合

唱コンクールに向けての取組」であった。細かく見ると、「練習がまとまらなかったとき、本気で意見をぶつけ合って話し合ったから、その後まとまることができた。」という意見が多く見られた。人間関係が深くなく、結果にあまりこだわりがなかった1学期の体育大会よりも、お互いのことを知り合い、結果も意識した2学期の合唱コンクールへの取組の方が、相手に深く入り込んでいく本気の意見の交わし合い、話し合いが行われたのだと考える。そして、その中で学級の団結・学級の成長と関係形成がより育まれたことを、生徒も実感しているのであろう。

生徒が感じているように、単なる上辺だけの話し合いではなく、本当に本音での話し合いができたときに、関係も深まっていく。そこで、そのような話し合いをするための必要な要素を以下のように整理した。

- ・真剣に課題を受け止め、話し合いで解決したいという意欲につながる議題設定とモチベーション管理
- ・自分が伝えたいことを伝えられる言語表現力
- ・人の発言を理解する言語理解力
- ・安心して本音が出し合える支持的な学級風土
- ・自分の意見へのこだわりと違う意見も受け入れようとする共感的理解や思いやり、さらに、合意形成を図ろうとする姿勢
- ・話し合いをスムーズに進め、合意形成を図るための話し合いのスキルを高め、その支援となるシートやマニュアルの工夫

今回の検証授業では、「マトリクス表」を使い合意形成を図る手立てとしたが、他にも、学びを引き出し、学びを振り返り、学びを支える手立てはある。これからも研究を重ね、特別活動、学級活動の中で、話し合い活動が充実するための効果的な手立てを開発し、汎用的な能力である「関係形成」が育まれていくことを目指したい。

最後に、関係形成の育成を目指すための学級活動の課題として、次のことを挙げたい。

- 子どもたちの話し合いのための言語スキルや進行スキルの育成
  - 学級における支持的風土や共感的理解を育てるための手立て
  - 中学校における学級活動の話し合い活動の充実
- これらのことについても、さらに、学校現場とともに考えていきたい。

《引用・参考文献等》

- ・文部科学省（2008）『小学校学習指導要領解説特別活動編』『中学校学習指導要領解説特別活動編』
- ・文部科学省（2011）『子ども熟議』のすすめ
- ・文部科学省（2011）『中学生熟議』のすすめ
- ・国立教育政策研究所(2013)『楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）』（リーフレット版）
- ・国立教育政策研究所(2014)『特別活動指導資料（小学校編）』
- ・国立教育政策研究所(2014)『学級・学校文化を創る特別活動（中学校編）』（リーフレット版）
- ・杉田洋(2009)『よりよい人間関係を築く特別活動』図書文化
- ・水戸部修治（2012）『教科調査官が語るこれからの授業小学校』図書文化
- ・内外教育8月号(2013)『自治的な話合いの充実』
- ・初等教育資料5月号（2015）P54～57
- ・平成27年度小中学校教科等指導主事連絡協議会特別活動部会における資料
- ・国立教育政策研究所(2015)『資質・能力を育成する教育課程の在り方に関する研究報告書1』